

11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



選挙の投票率をあげよう

信大附属長野中学校 3年玉井拓希・倉田紗都

投票率をアップさせる目的

民主主義を守る

外国水準にする

高齢者は高いが若者の投票率が低い

→政治の目線が高齢者向けになってしまう

国政選挙の投票率（例は先進国）

オーストラリア：91.9%

スウェーデン：87.2%

ドイツ：76.6%

イギリス：67.6%

韓国：66.2%

アメリカ：56.8%

日本：52.7%

フランス：48.7%

選挙に行かない理由(4選)

A: 行くのが面倒だから

B: 自分の一票で政治が変わると思えないから。

C: 政党の知識がないから。

D: (現状維持でいいと思っているから)

①公民館の人が投票箱を持って来て投票を行う

投票所まで行くのが億劫な人・高齢者や体の不自由な方のため

⇒地域の繋がりにも貢献できる(SDGs11番)

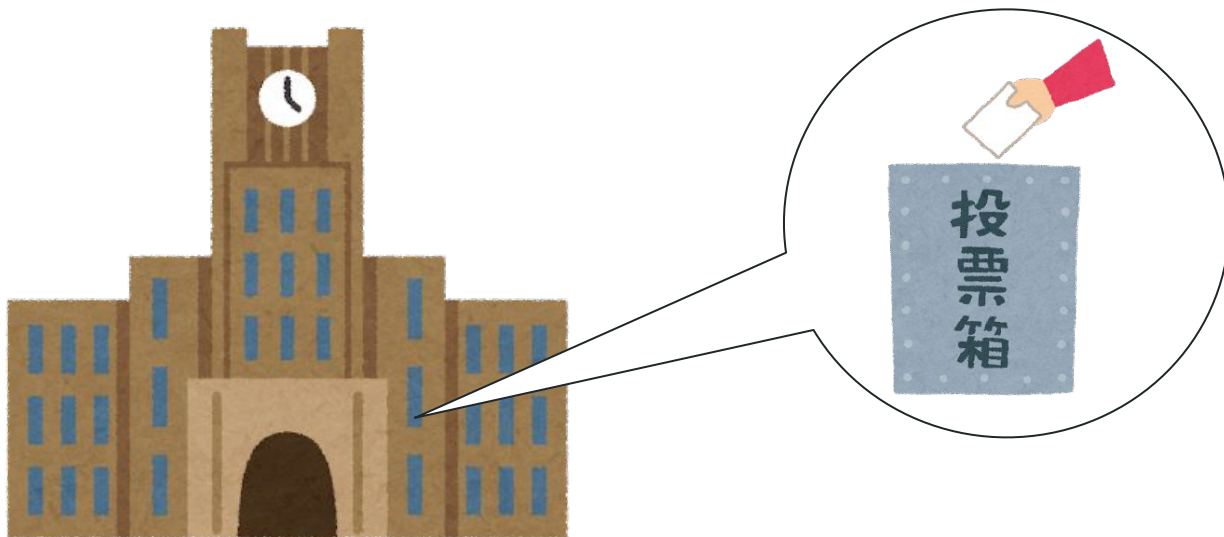
・住所知ってるから、公民館の人が勝手に投票しないか不安。



②商業施設や大学に期日前投票所を設置

投票箱の設置場所を増やすことで投票しやすく。

大学に投票箱を設置することで若い人の投票率を上げたい。



③子供を連れて投票に行く(親の場合)

反対に、子供が親に投票を働きかける!

- ・親が選挙に行っていない、投票所のイメージがない
- ⇒子供も「行かなくていい」と思ってしまう

- ・子供から親に働きかける
- ⇒**子供が投票のイメージや政治に興味を保つ必要がある**

- ・子供が行って楽しいようなスペースを設ける→選挙に対して好印象を持ってもらう



投票しても何も変わらないと思っ
ているそのあなた！

「投票に行ってもどうせ変わらない」

「行けば変えられるかもしれない」から。

皆さんも今度の選挙から是非投票へ！

ご清聴ありがとうございました！！